

03 まちなか暮らしの提案 2 -コンセプト-

計画案のテーマ



コンセプト

間口狭小・奥行長大の敷地を前後で共有することで、

① 住み慣れた地域で慎ましく暮らし続けられる環境を整える

対象者イメージ：大きな家に、夫婦のみで暮らすお年寄りや、単身高齢者。
 掃除が行き届かず、建物は老朽化し、足が痛くて二階は殆ど使わない。
 数年後は、駅近のマンションに引っ越そうかと考えている。

- ・マンションに比べ安価で、住み慣れた地域で生活できる選択肢
- ・バリアフリーでコンパクトな、慎ましい住まい。
- ・日常生活の中で、見守りのある、安心できる暮らし。

② 若い世代が住みたいと思える環境を整える

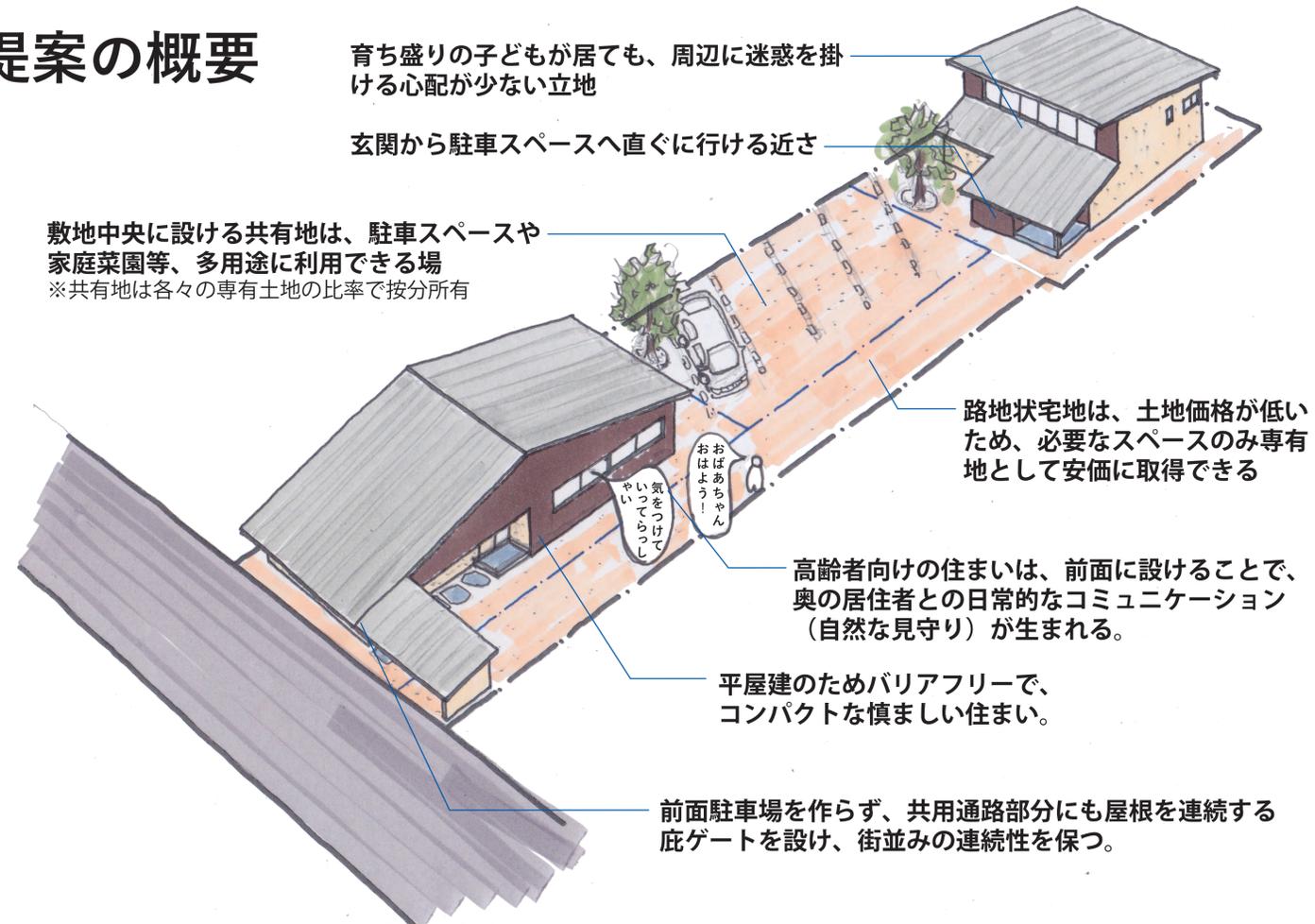
対象者イメージ：これから初めて住まいを持ち、子どもを育てようと考えている、若夫婦。
 学区等のことから、まちなかに住みたいが、駐車スペースに課題を感じている。
 お隣との距離が近い、まちなかだと、子どもの声が近所迷惑にならないか心配。
 まちなかの土地は、奥行が長過ぎ、使いきれない土地の割に価格が高い。

- ・奥行の長い土地でも必要なスペースだけ安価に取得できる仕組み
- ・道から一步奥まった、周辺建物と近過ぎない環境
- ・広大な駐車スペース

歴史ある文化と街なみを次世代へ継承する。

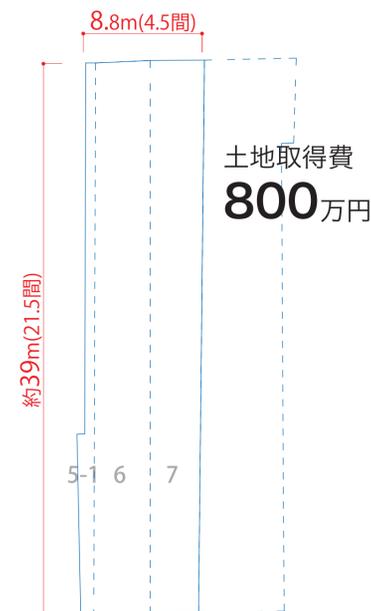
空き家を生かし未来をつくるまちづくり

提案の概要

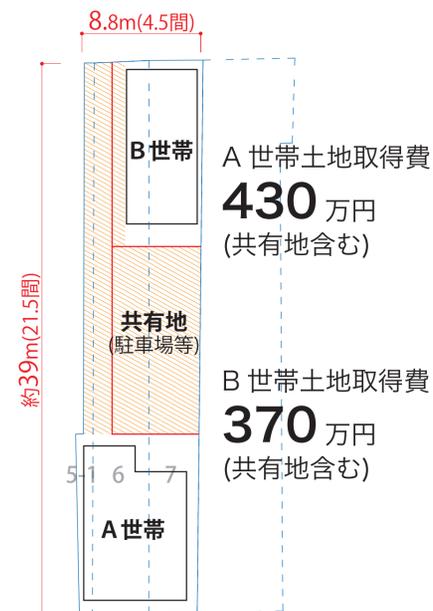


敷地共有化による、土地価格の違い

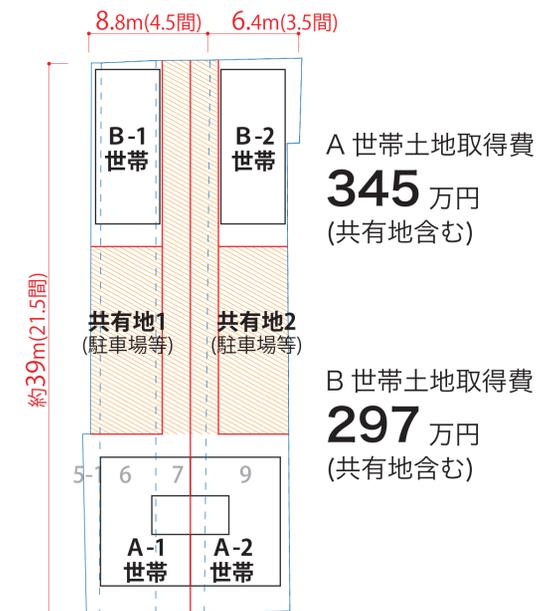
●現状 [5-1.6.7]



●プランNo.1 [5-1.6.7 を二世帯で共有]



●プランNo.2 [隣地9を合せ、四世帯で共有]



*1: 共有地は土地評価額による持分割合にて共有。(色部分)は管理運営上の共同利用地)
 *2: 土地価額は間口狭小補正・奥行価格補正・奥行長大補正・不整形地補正を加味して評価。